

佐々木惣一 ささき そういち 憲法學者、法學博士。明治十一年二月二十八日爲
取縣生れ、昭和四十年八月四日歿（八六一―九六五）。明治二十六年京都
帝國大學法科大學卒。大正二年同大教授、十年法學部長。昭和八年瀧
川事件で辭職、のちと命館大學學長。戰後新憲法審議に加はる。二十
七年文化勳章受章。號笹舟、讀山、讀山學人。

著書『普通選舉』（大正九年四月、二十一日岩波書店）、『京大事件』
（共編著、昭和八年十一月、二十五日岩波書店）、『我が國憲法の獨白
性』（昭和十八年八月、二十日岩波書店）、『時を刻むの記』（昭和十
九年一月、二十日甲鳥書林）、『疎林』（昭和二十二年十一月十日京都
・甲文社）、『回想の河上肇』（合著・小林耀文他三名共編、昭和十
二年三月十五日世界評論社）等。

